

一人一人の個性の開花

～自分を見つめ、自分を生かす～

県・市教育方針

〈義務教育課取組の方向〉
 「豊かな心」の育成
 「確かな学力」の育成
 地域とともにある学校づくりの推進
 就学前教育の充実
 環境教育の推進
 〈山鹿市教育指導の重点〉
 「命」を輝かせる教育
 「志」を育てる教育
 「生き抜く力」を育む教育
 〈本年度の重点〉
 日本一の学園都市「やまが」を目指したさらなる校務改革、授業改革、中学校区の学園化の推進

目指す学校像

学校は、子どもたちをいかに輝く存在にできるかを考え、「教育実践を創造する場」である

学校は、感動を共有する場であり、「子どもたちの夢の実現のための学びの場」である

「せせらぎの人」「清流の人」づくり

山間の町、鹿北を流れる清流の一滴が、やがては大河となり、ついには大海原へと至る。清流の一滴である鹿北の子どもたち一人一人には、たくさんの可能性が秘められている。その可能性の扉を自ら開き、生かしていく力をつけていく。

小中9年間の「学び」でめざす姿

- 地域のために積極的に行動できる人
- 自ら課題を見つけ、話し合い、解決に向けて自主的に行動できる人
- 意欲的に学ぶ姿勢を身につけている人
- 自分の体力や健康に関心を持ち、積極的に運動に親しむことができる人
- かしこく、ほがらかに、くふうできる人

社会人基礎力の育成

- 【前に踏み出す力】 主体性・働きかけ力・実行力
- 【考え抜く力】 課題発見力・計画力・創造力
- 【チームで働く力】 発進力・傾聴力・柔軟性・状況判断力・規律性
- 【生活するための力】 基礎知識・基礎体力・学ぶ意欲・耐性

校訓

己を重んじ
己を伸ばす
友を敬し
友に学ぶ

研究目標

インクルーシブ教育システムを土台とした9年間の連続した「学び」の確立
 ～課題に気づき、話し合い、解決に向けて自主的に行動できる子どもの育成を目指して～

職員の意識改革

子どもたちの頑張りがわかる、喜びや悩みを共有し、責任転嫁しない、あきらめない教職員
 一人一人が魅力ある生き方ができる教職員
 指導の基本は「納得」、納得の連続が「信頼」。徹底して納得できる指導に努める教職員

自尊感情・自己有用感

保小中連携

- 432の教育課程編成
- 乗り入れ指導実施
- 行事の連携

社会性・自治力

地域連携

- 地域学校協働活動
- 地域行事への主体的参加

学ぶ意欲・生き方の基礎基本

特別活動

- なかまづくり推進
- 話し合い活動充実
- 生徒会活動活性化

学力向上

- 学習過程スタンダード実践
- 家庭学習の充実
- 個別支援の充実

体力向上

- 地域・小学校と連携した部活動
- 小中合同体力作り
- 縦割り班活動実践

インクルーシブ教育システム構築

- 基礎的環境整備
- 合理的配慮
- 個別支援の充実
- サポート教室
- 移行支援
- 鹿北版子ども支援シート
- 鹿北版UD化チェックリスト
- 関係機関との連携
- すまいる連絡会
- 家庭との連携